

# 令和3年度 東京都立野津田高等学校 学校経営計画

校長 池戸成記

## 1 目指す学校像

本校は、各学科の特色を生かしながら、個性と創造力を伸ばす教育を重視し、心身ともに健全で、社会に貢献できるスペシャリストを育成するために、次の教育目標を掲げてきた。

ア 「未見の我」の発見に努め、未来をつかむ能力と態度を養う。

イ 人権尊重の精神を育成し、共同生活体としての連帯感や所属感を養う。

ウ 権利と義務、自由と責任との調和を図りつつ、自ら学び考え行動する能力を養う。

これらの教育目標を達成するために、次のような学校づくりを目指す。

### (1) 自分の可能性に気づき、その能力を伸ばすために努力をする生徒を育成する学校

多くのことを頑張りきることによって「未見の我」を発見し、その可能性を自ら伸ばしていくために、自分で自身を成長させることができる生徒を育成する。

### (2) 社会の一員として活躍するために必要な規範意識を育成する学校

共生社会で活躍するために、自らの価値を高め、規則だけでなく、モラルやマナー、エチケットなど、思いやりとやさしさに基づく自らの規範意識をもち、他者を尊重し、自分を大切にできる行動ができる生徒を育成する。

### (3) 社会の一員として活躍するために必要な基礎学力を身に着ける学校

真摯な姿勢で学習や生活に臨み、基礎学力を定着させ、さらに将来の目標や希望に向かって努力を継続し、自己実現を果たそうとする意欲を持った自己肯定感の高い生徒を育成する。

## 2 中期的目標と方策

### (1) 基礎学力の定着と伸長

①基礎・基本を重視した学習内容や指導方法を工夫し、学習内容の定着を図る。

②授業規律を徹底することで落ち着いた学習環境を整備し、能動的に学ぶ能力や態度の育成を図る。

③上級学校への進学希望者のために、発展的な講習の充実を図る。

④教員同士や他校との相互授業参観を積極的に行い、授業改善と授業力の向上を図る。

⑤ICT機器やオンラインを積極活用した学習活動を推進し、デジタル社会で活躍する人材の育成を図る。

### (2) 進路希望の実現

①3年間を通した系統的・計画的なキャリア教育を基に、自己の将来像を描かせ、そこに向かって能動的に活動する人材の育成を図る。

②進路指導部及び学年が協働し、生徒個々の現状を的確に把握し、個に応じた進路指導を推進する。

③地域や社会の関連機関と連携したキャリア教育を推進し、望ましい勤労観、職業観の体得を図る

④あらゆる教育活動を通して勤勉で粘り強い人材の育成を図り、たくましい社会人を育成する。

### (3) 普通科・福祉科・体育科の個性化・特色化の推進

①各学科の特色や魅力を整理、再構築し、学習意欲とその効果を高める。

②各学科の教育効果を積極的に校内外に発信し、募集対策に資する。

③各学科の目標に応じた資格や、各検定・資格試験受験を奨励し、自身のキャリア構築に活かす。

### (4) 基本的生活習慣の確立と心身の健康の向上

①人権尊重を基本とした指導の徹底を図り、規範意識の育成と醸成を図る。

②時間や挨拶、整理整頓などの基本的な生活習慣を定着させる。

③自ら学び考え、自らを成長させることのできる能力を育成する。

④授業、学校行事及び部活動を通して基礎体力を向上させる。

⑤教員と生徒が互いに尊重し合い、理解と納得、責任に基づいた生活指導を行う。

⑥いじめのない校風をつくり、安全で安心な学習環境を保障する。

⑦特別支援コーディネーターを中心として、特別支援教育を学校全体で推進する。

### 3 今年度の教育活動の目標と方策

#### (1) 学習指導

- ① ICTの活用及びインターネット等を活用した学習方法の研究と実践に努め、デジタル社会に対応した新たな学習方法の構築に励む。
- ② 習熟度別授業の充実や少人数制授業の推進・活用により、「基礎・基本の徹底」を図るきめ細やかな指導を実践する。また、個に応じた指導の推進を図るため、補講や講習を充実させる。
- ③ 各教科で、本校の実態に即した学力スタンダードを策定し、教材や授業形態、指導方法及び授業展開等の工夫に絶えず取り組み、生徒の興味・関心を引き出すとともに、「わかる」授業を展開し、「できた実感」を体験させる。
- ④ 予習・復習の習慣化を図り、主体的に学習する態度を育成する。

福① 地域や福祉施設と連携した実習を基盤に、自尊感情を育成するとともに、命に対する畏敬の念と人権尊重の心を養いながら、福祉に関するスペシャリストの養成に向けた指導を徹底する。

体① スポーツが持つ、品位、結束、規律、尊重などの態度育成を第一義とし、社会に必要とされる人材の育成に努める。

体② 質及び量ともに豊かな実技を中心とした授業を基盤に、技能向上のために自ら考え行動する態度を育成する。学校設定科目「専攻スポーツ」を充実させ、専攻種目における競技力の向上を図る。

#### (2) 進路指導

- ① 進路指導部が主体となり各学年との連携を図る。また、3年間を見据えた系統的・体系的な進路指導計画を作成し、キャリア教育を全教職員で組織的に実施する。
- ② 各学年とも、生徒個々の適性や希望を把握し、その実態に応じて適切な進路情報を提供するとともに、ハローワーク等の関係機関と連携を密にし、適切な個別相談等を実施する。
- ③ 進路ガイダンス、職業講話、企業見学、上級学校見学やインターンシップを通して、生徒が望ましい勤労観や職業観を身に付け、主体的に進路を選択決定していける能力、態度を育成する。
- ④ 「進路だより」等を使い、定期的に進路に関する情報に触れさせることによって、進路に関する意欲や意識の喚起を図る。

#### (3) 生活指導

- ① 生活指導部が中心となって教職員と生徒の信頼関係を基盤とした全校体制の指導を行う。特に中途退学者の減少のために、きめ細やかで粘り強い生活指導を継続する。
- ② 生徒相互や生徒と教員間の「あいさつ」を励行するとともに、身だしなみを整える指導を徹底し、基本的生活習慣を確立する。
- ③ 地域の関係諸機関と連携した交通安全、薬物乱用防止、SNSやインターネットの適正使用等のセーフティ教室や健全育成講話を実施する。
- ④ 「時間を守る」意識の育成を図り、遅刻指導に取り組む。また、全教員で「チャイムで始まり」「チャイムで終わる」授業を実践すると同時に、机上・机下の整理整頓を徹底する。
- ⑤ 「いじめのない学校」を実現する。いじめ対策として、スクールカウンセラーを活用し早期発見に努め、家庭との協力体制を構築し、生徒の悩みに対応することでいじめ防止を図る。
- ⑥ 地域からの声に迅速かつ丁寧に対応し、特に交通ルールの遵守と、自転車通学のマナーを向上させるための指導を徹底する。
- ⑦ 「東京都オリンピック・パラリンピック教育」の実施方針に基づき、「おもてなし」の精神を育成することによって思いやりや優しさを育む。また東京2020のレガシー構築を見据えた教育を実施する。

#### (4) 特別活動・部活動

- ① 専攻スポーツの物的・質的充実を図り、競技力の向上を図る。
- ② 学科を越えた交流によって、部活動の活性化に取り組み、部活動を通じた学校への帰属意識や連帯感をもたせるとともに、生徒の健全育成を積極的に推進する。
- ③ 文化系活動の表現の場を積極的に設け、生徒の表現力や意欲の向上に資する。

④特別活動の意義を十分に理解し、野津田祭をはじめとする行事の運営を生徒が主体となって行えるよう支え、学校の活性化を図る。

⑤生徒の人権を尊重した指導や自発的な活動を保障し、体罰・暴言のない指導を徹底する。

#### (5) 健康づくり

①学校保健計画に基づき、生徒の健康の保持増進を図り、安全確保を徹底する。特に感染症対策など、今日的な課題について組織的に対応するとともに、生徒が当事者意識を持てる指導を図る。

②環境美化を重視し、美化委員会を中心とした生徒の自発的な清掃活動を推進する。学習環境の整備や保全に心がけ、美化活動を通して生徒の豊かな心を涵養する。

③生命尊重の視点に立ち、「SOSの出し方」や、不登校や自殺等対策に資する教育の推進として、積極的なスクールカウンセラーの活用を行い、教育相談体制の活性化を図る。教育相談委員会を定例的に実施し内容の充実を図る。

④教育相談委員会を中心に、特別支援教育や日本語支援を必要とする生徒へのきめ細かな対応に心がけ、学校全体で特別支援教育の推進に取り組む体制を充実する。

⑤体育の授業において運動量を確保するとともに、スポーツテストの結果をフィードバックし、基礎体力の向上を図る。また、部活動を通してバランスのよい体力づくりを取り入れる。

#### (6) 募集・広報活動

①ホームページを随時更新し、地域の方々や中学生、その保護者に本校の日常の教育活動を速やかに発信する。

②学校見学会・学校説明会・体験入学等を積極的に開催して、本校の特色及び各学科の特徴を中学生とその保護者に丁寧に説明し、明確な目的意識をもった意欲的な生徒の募集を目指す。

③出前授業や模擬授業等、校外の募集活動に積極的に参加するとともに、部活動体験の回数を増加することにより、特に近隣中学校との連携・交流をより一層推進していく。

④一学年生徒による母校訪問を行う。また、全教職員体制で市外を含めて中学校を3校以上訪問する。さらに、体育科の専攻スポーツは、体験入部（説明等）を3回以上実施する。

#### (7) 学校経営・組織体制

①「野津田高校グランドデザイン」を基に、企画調整会議と教科主任会を経営の基盤に据え、経営課題の解決と経営方針の徹底を図り組織的な対応力を高める。

②経営参画ガイドラインに基づき、経営企画室における業務執行の適正化を図り、透明性を担保した執務の励行を行う。

③教科指導力向上のために、「教員相互の授業参観」を年間10回以上行い、研究と修養に努める。また、他校の模範授業の参観など、積極的に校外での研修に参加し、研鑽に努める。

④内部評価及び外部評価の結果に照らして、改革や改善を常に意識することで、創意工夫のある教育環境を整える。

⑤PTAや同窓会と緊密に連携し、共催事業を実施することにより教育活動を充実させる。

⑥保有個人情報の管理を徹底することにより個人情報紛失事故を0とする。そのために、クリーンデスクに取り組み、机の施錠と使用する施設等の施錠を徹底する。

⑦会議の効率化、コミュニケーションの充実、業務の簡素化等を図り、教職員のライフワークバランスを重視した学校経営を行う。

## 4 今年度の重点目標と方策

### (1) 基礎学力の定着と進路実現の推進

①ICTやBYODの活用など創意工夫した授業を展開することによって、生徒が「わかる」授業を実践し、学校への定着や進路実現を図る。

②上級学校への進学に向け、中位層を引き上げ、上位層を伸ばす。

③進路指導部と各学年の連携により、3年間を見据えたキャリア教育を組織的に実施する。

【数値目標】

| 項目    | 目標数値 ( )内は前年度以前数値  |
|-------|--|
| 中途退学率 | 2.0% (2年度 2.5% 元年度 3.6% 30年度 5.1%)   |
| 進路決定率 | 普 95%以上(2年度 89%) 福 95%以上(2年度 84%) 体 95%以上(2年度 93%)<br>大学進学率 25% (2年度 26% 元年度 16% 31年度 21%) |
| 授業満足度 | 85% (2年度 81% 元年度 69% 30年度 73%)   |
| 夏期講習  | 募集講座 35 講座 開講講座 20 延べ参加人数 300 名<br>(元年度募集 32 講座 開講 18 講座 参加延べ人数 286 名)                     |

(2) 普通科・福祉科・体育科の個性化・特色化の推進

- ①普通科は、授業内容の工夫や習熟度別授業、補習・補講により、基礎基本の徹底を図る。また、資格や検定受検を奨励し、自己の可能性や能力を伸ばそうとするマインドを育成する。
- ②福祉科は、介護福祉士国家試験の合格を目指し、その過程において、自他共愛の精神や多様性の時代にふさわしい社会に貢献できるスペシャリストを育成する。
- ③体育科は、授業と専攻スポーツの充実を図り、専攻スポーツの競技力を向上させる。また、資格の取得により、スポーツのスペシャリストを育成する。
- ④上記各学科の特色と魅力を校内外に積極的に発信し、応募倍率の向上を図る。

【数値目標】

| 項目               | 目標数値 (前年度以前数値)   |
|------------------|--|
| 生徒の入学満足度         | 85% (2年度 1年生 普 82% 福 95% 体 90% (元年度全体 69%))  |
| 介護福祉士<br>国家試験合格率 | 100% (2年度 84% 元年度 88% 30年度 96% 29年度 87.5%)   |
| 応募倍率             | 普 推薦 1.80 倍 (2年度 1.65 倍 元年度 1.13 倍)<br>一次 1.10 倍 (2年度 0.79 倍 元年度 1.05 倍)<br>福 推薦 2.00 倍 (2年度 2.90 倍 元年度 0.90 倍)<br>一次 1.10 倍 (2年度 0.96 倍 元年度 0.27 倍)<br>体 推薦 2.00 倍 (2年度 2.00 倍 元年度 2.25 倍)<br>前期 1.10 倍 (2年度 1.08 倍 元年度 1.17 倍) |
| HP更新回数           | 200 回以上 (2年度 248 回 元年度 212 回)  |
| 部活動加入率           | 60%以上 (2年度 58% 元年度 51%)  |
| 部活動実績            | 都大会入賞, 関東大会・全国大会・全国高文祭等への出場 1 団体(個人)<br>以上   |

(3) 基本的生活習慣の確立

- ①時間の厳守、挨拶、身だしなみ、身の回りの整理を中心とし、特に、遅刻に対する対策、指導を充実させ、生徒の基本的生活習慣の確立を目指す。
- ②通学路や交通機関等における公共のマナーを育成する。特に自転車のマナー向上に取り組む。
- ③人権尊重の精神を育成し、共同生活体の中で規範意識を高め、いじめのない安心・安全な学校を目指す。

【数値目標】

| 項目        | 目標数値 (前年度以前数値)                               |
|-----------|--|
| いじめ対応件数   | 0 件 (2年度 1 件)                                |
| 体罰, 暴言等   | 0 件 (2年度 0 件)                                |
| 皆勤生徒数     | 各学年 20 名 (2年度 1 学年 20 名 2 学年 15 名 3 年生 19 名) |
| 年間遅刻延べ回数  | 4000 回 (2年度 6315 回 元年度 6068 回 30年度 7146 回)   |
| 年間自転車事故件数 | 0 件  |